

(別添)

(平成 24 年)

「児童手当の使途等に係る調査」 調査結果の概要

内容

I 調査概要

II 調査結果の概要

1. 児童手当等の使途〔複数回答〕
2. 児童手当等の使途別使用（予定）金額
3. 使途を子どものために限定できない理由〔複数回答〕
4. 児童手当等の支給による家庭の変化〔5段階評価〕

I 調査概要

1. 調査目的

児童手当等（※）の支給対象者である、中学校3年生以下の子どもを持つ人を対象に、児童手当の使途及び使途別の使用金額について調査を実施し、その実態を定量的に把握することを目的とする。

※ 児童手当法第4条第1項に規定する児童手当（以下、「児童手当」という。）及び同法附則第2条第1項に規定する特例給付（以下、「特例給付」という。）をいう（以下同じ）。

2. 調査対象

民間調査会社に登録されているモニターのうち、事前調査実施時点において、長子学齢が中学3年生以下の子どもと同居しており、家計の状況（日常的な支出額など）について把握している18歳以上の男女（9,973サンプル）

3. 調査方法

インターネット調査（事前調査1回、本調査全3回）

- ・事前調査：調査対象条件等の聴取・確認
- ・本調査：児童手当等の使途、使途別の使用金額等について、3回にわたり回答を得る（次ページ「調査及び集計のイメージ」を参照）

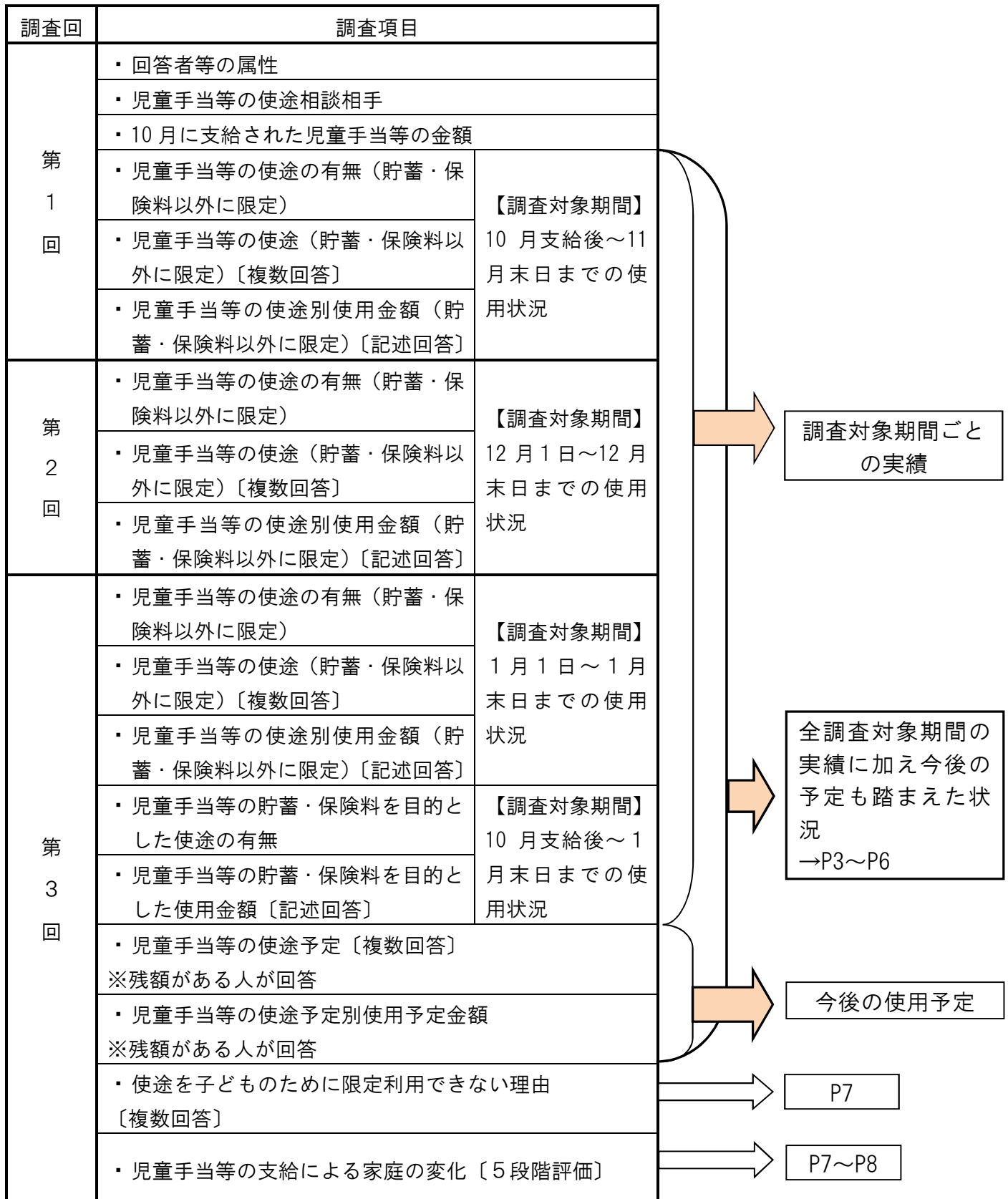
4. 調査期間

- ・事前調査：平成24年10月17日（水）～10月22日（月）
- ・本調査：【第1回】平成24年11月30日（金）～12月5日（水）
【第2回】平成24年12月25日（火）～1月11日（金）
【第3回】平成25年1月31日（木）～2月12日（火）

5. 主な調査項目

- 回答者及び同居する子ども、世帯の属性
- 児童手当等の使途
- 残った児童手当等の使い道（使途予定）
- 児童手当等の使途（予定）別使用金額
- 児童手当等の支給による家庭の変化

6. 【調査及び集計のイメージ】



Ⅱ 調査結果の概要

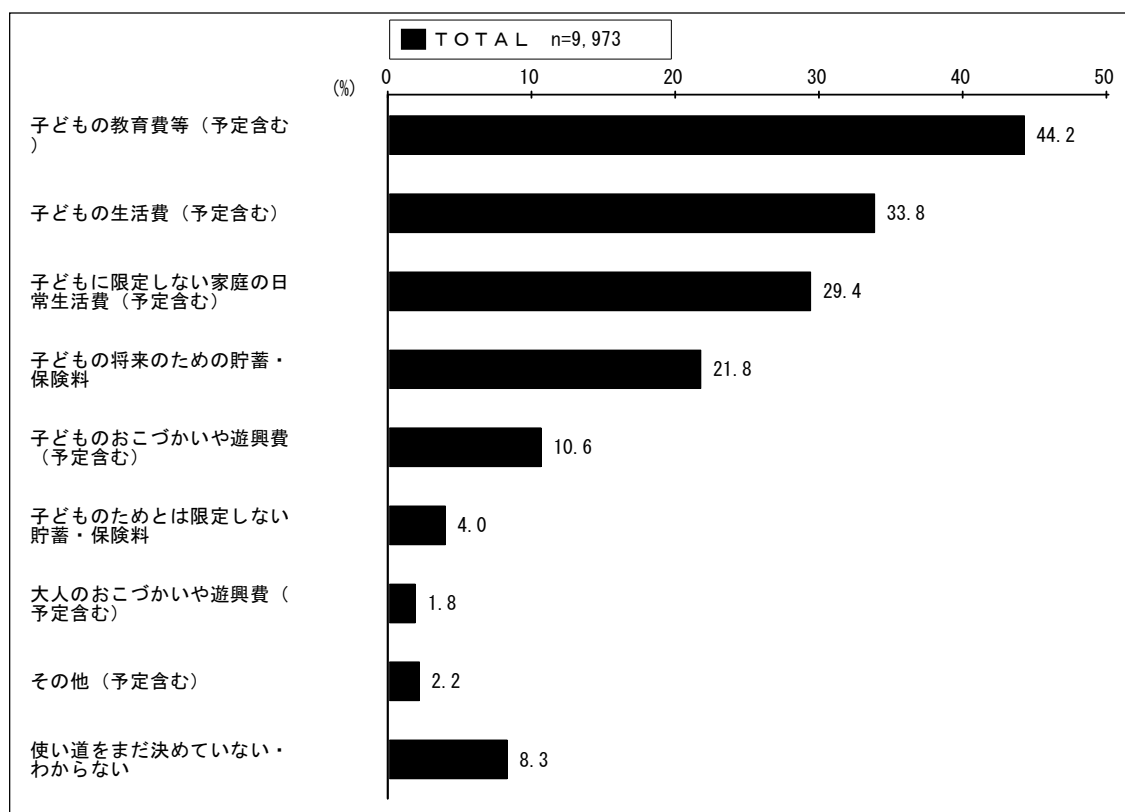
1. 児童手当等の使途〔複数回答〕

調査期間中（10月支給後～1月末日まで）に実際に使用した使途の状況に加え、調査期間中に1円以上の残額がある人に聞いた「今後の使途予定」の回答状況を踏まえた児童手当等の使途の状況。

（全体）

- ①「子どもの教育費等」 44.2%
 - ②「子どもの生活費」 33.8%
 - ③「子どもに限定しない家庭の日常生活費」 29.4%
 - ④「子どもの将来のための貯蓄・保険料」 21.8%
 - ⑤「子どものおこづかいや遊興費」 10.6%
- 「使い道をまだ決めていない・わからない」と回答した人は8.3%

児童手当等の使途（予定含む）〔複数回答〕



（一番上の子どもの学齢別）

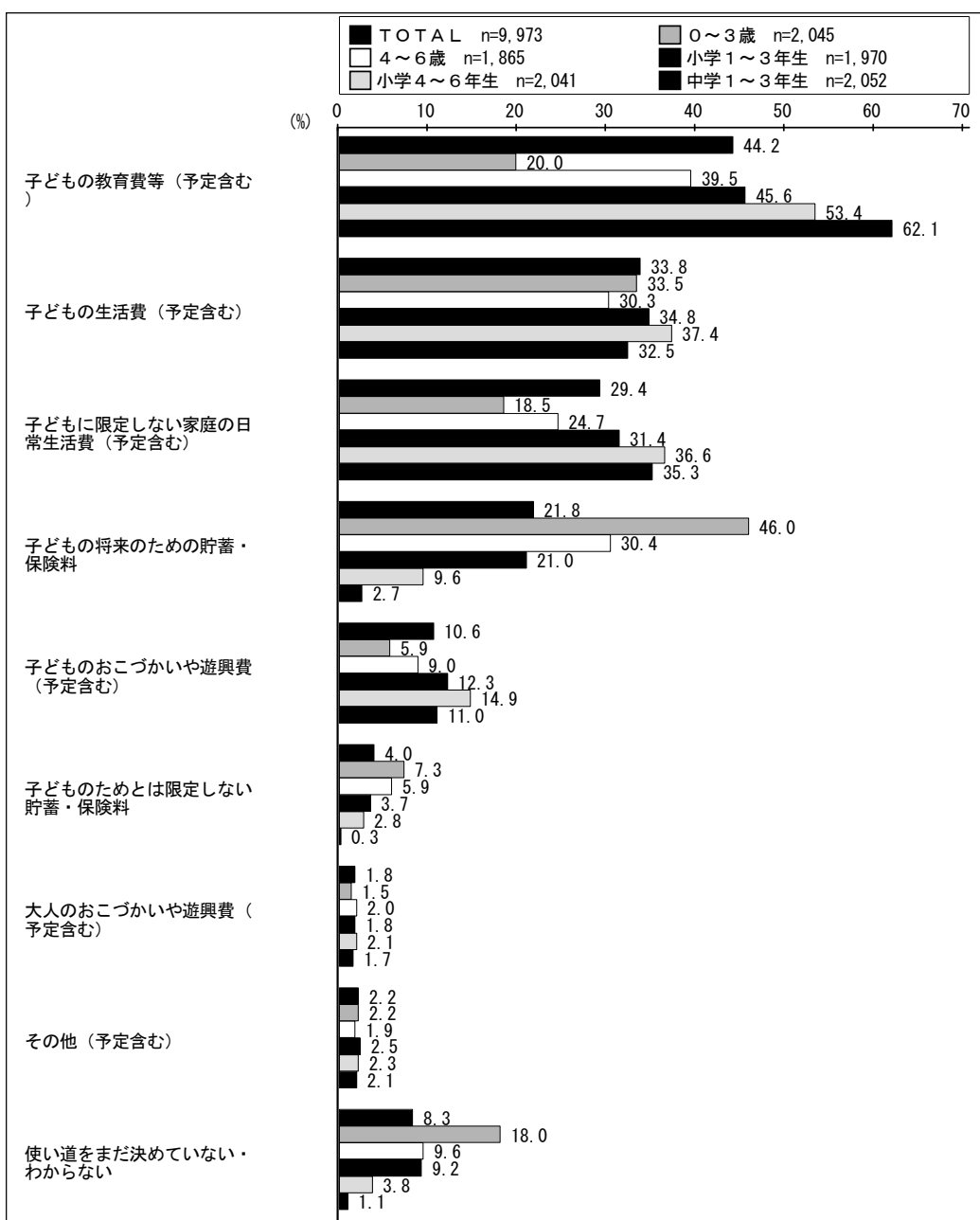
一番上の子どもの学齢区分別にみると、

- ・ 「子どもの教育費等」は学齢が高くなるにつれて回答割合が高くなる傾向（0-3歳 20.0%、4-6歳 39.5%、小1-3年生 45.6%、小4-6年生 53.4%、中学生 62.1%）。

「0-3歳」を除く全ての区分で最も回答割合が高い（「0-3歳」区分は「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が46.0%で最も高い）。

- ・ 「子どもの将来のための貯蓄・保険料」は学齢が高くなるにつれて回答割合が低くなる傾向（0-3歳46.0%、4-6歳30.4%、小1-3年生21.0%、小4-6年生9.6%、中学生2.7%）。
- ・ 「使い道をまだ決めていない・わからない」は学齢が高くなるにつれて回答割合が低くなる傾向（0-3歳18.0%、4-6歳9.6%、小1-3年生9.2%、小4-6年生3.8%、中学生1.1%）。

長子学齢区分別の児童手当等の使途（予定含む）〔複数回答〕



2. 児童手当等の使途別使用金額（予定含む）

調査期間中に実際に使用した使途別の使用金額の状況に加え、調査期間中に1円以上の残額がある人に聞いた「今後の使途別使用予定金額」の回答状況を踏まえた児童手当等の使途別使用（予定）金額。

（全体）

- ①「子どもの教育費等」 9,341円（支給額の27.4%）
- ②「子どもの将来のための貯蓄・保険料」 7,635円（同22.4%）
- ③「子どもに限定しない家庭の日常生活費」 6,703円（同19.7%）
- ④「子どもの生活費」 5,221円（同15.3%）
- ⑤「子どものおこづかいや遊興費」 1,074円（同3.2%）
- 「使い道をまだ決めていない・わからない」 2,274円（同6.7%）

なお、子どもに限定した使途に対する使用金額（上記の①②④及び⑤の合計）は23,271円（同68.3%）となっている。

※ 支給額の全体平均は34,072円

（児童手当受給者）

- ①「子どもの教育費等」 9,724円（支給額の27.0%）
- ②「子どもの将来のための貯蓄・保険料」 8,118円（同22.5%）
- ③「子どもに限定しない家庭の日常生活費」 7,196円（同20.0%）
- 子どもに限定した使途に対する使用金額は24,581円（同68.2%）

※ 支給額の全体平均は36,047円

（特例給付受給者）

- ①「子どもの教育費等」 5,675円（支給額の36.9%）
- ②「子どもの将来のための貯蓄・保険料」 3,183円（同20.7%）
- ③「子どもに限定しない家庭の日常生活費」 2,114円（同13.8%）
- 子どもに限定した使途に対する使用金額は10,843円（同70.5%）

※ 支給額の全体平均は15,371円

児童手当受給者と特例給付受給者では、使用金額で見ると、特例給付受給者は児童手当受給者に比べて「子どもの教育費等」などの割合が高く、「子どもの生活費」「子どもに限定しない家庭の日常生活費」などの割合が低くなっている。

児童手当等の使途別金額（予定含む）

	① 児童手当受給者全体		② 特例給付受給者全体		③ 全体		④ 児童手当満額受給者		⑤ 特例給付満額受給者		⑥ 全体の満額受給者		
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
児童手当受給者全体:n=8,999 特例給付受給者全体:n=957 全体:n=9,973 児童手当満額受給者:n=6,292 特例給付満額受給者:n=592 全体の満額受給者:n=6,884													
子どもの生活費(予定含む)	3,366	5,600	15.5	1,514	9.9	5,221	15.3	6,459	14.6	1,821	9.1	6,060	14.4
子どもの教育費等(予定含む)	4,408	9,724	27.0	5,675	36.9	9,341	27.4	11,471	25.9	7,162	35.8	11,101	26.3
子どものおこづかいや遊興費(予定含む)	1,060	1,139	3.2	471	3.1	1,074	3.2	1,391	3.1	630	3.2	1,325	3.1
大人のおこづかいや遊興費(予定含む)	181	257	0.7	50	0.3	237	0.7	309	0.7	44	0.2	286	0.7
子どもに限定しない家庭の日常生活費(予定含む)	2,929	7,196	20.0	2,114	13.8	6,703	19.7	8,981	20.3	2,681	13.4	8,439	20.0
子どもの将来のための貯蓄・保険料	2,171	8,118	22.5	3,183	20.7	7,635	22.4	10,771	24.3	4,602	23.0	10,241	24.3
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料	396	982	2.7	534	3.5	938	2.8	1,310	3.0	740	3.7	1,261	3.0
その他(予定含む)	220	694	1.9	122	0.8	649	1.9	855	1.9	147	0.7	794	1.9
使い道をまだ決めていない・わからない	830	2,338	6.5	1,707	11.1	2,274	6.7	2,718	6.1	2,174	10.9	2,671	6.3
計	-	36,047	100.0	15,371	100.0	34,072	100.0	44,266	100.0	20,000	100.0	42,179	100.0

※「児童手当満額受給者」：4月分（一番上の子どもの分として40,000円または60,000円）の児童手当の支給を受けた者
「特例給付満額受給者」：4月分（一番上の子どもの分として20,000円）の特例給付の支給を受けた者

（一番上の子どもの学齢区分別）

一番上の子どもの学齢区分別にみると、「0-3歳」「4-6歳」では「子どもの将来のための貯蓄・保険料」に対して最も多く使用され、その他の区分では、「子どもの教育費等」に対して最も多く使用されている。

また、その使用（予定）金額は、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」については、学齢区分が高くなるほど少なくなっており、「子どもの教育費等」については、学齢区分が高くなるほど多くなっている。

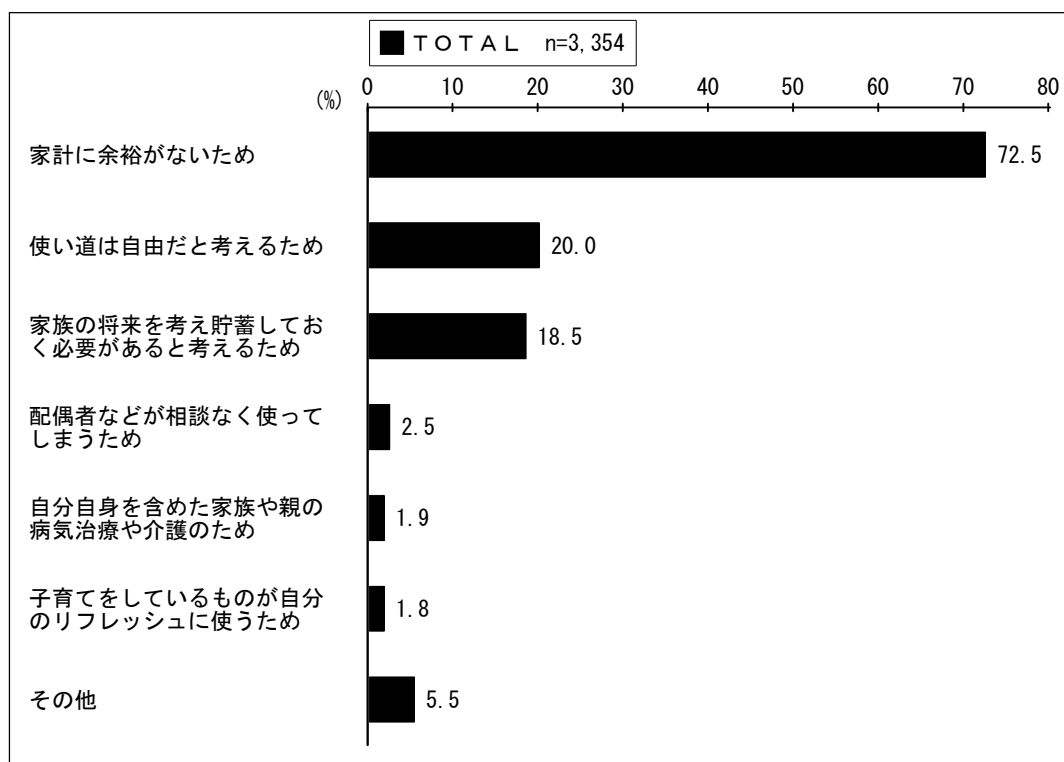
長子学齢区分別の児童手当等の使途別金額（予定含む）

	① 児童 手当 受給者 全体		② 特 例 給 付 受 給 者 全 体		③ 全 体		④ 児 童 手 当 満 額 受 給 者		⑤ 特 例 給 付 満 額 受 給 者		⑥ 全 体 の 満 額 受 給 者		
	回答者数 (人)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)	金額 (円)	構成比 (縦%)
全体：n=9,973 0～3歳：n=2,045 4～6歳：n=1,865 小学1～3年生：n=1,970 小学4～6年生：n=2,041 中学1～3年生：n=2,052													
子どもの生活費(予定含む)													
TOTAL	3,366	5,600	15.5	1,514	9.9	5,221	15.3	6,459	14.6	1,821	9.1	6,060	14.4
0～3歳	685	8,042	16.0	3,177	21.2	7,753	16.2	8,742	14.8	4,400	22.0	8,551	14.9
4～6歳	566	4,450	13.3	1,424	8.9	4,251	13.2	4,885	12.2	1,816	9.1	4,664	12.1
小学1～3年生	685	4,951	15.3	1,045	6.7	4,579	14.9	5,854	14.6	1,276	6.4	5,440	14.2
小学4～6年生	763	5,492	17.3	1,509	9.7	5,030	16.9	6,508	16.3	1,795	9.0	5,994	15.9
中学1～3年生	667	4,860	15.5	1,088	7.3	4,387	15.0	5,997	15.0	1,219	6.1	5,428	14.4
子どもの教育費等(予定含む)													
TOTAL	4,408	9,724	27.0	5,675	36.9	9,341	27.4	11,471	25.9	7,162	35.8	11,101	26.3
0～3歳	408	5,015	10.0	1,742	11.7	4,864	10.1	5,469	9.3	2,008	10.0	5,317	9.3
4～6歳	737	8,684	26.0	3,937	24.6	8,321	25.9	10,202	25.5	4,346	21.7	9,780	25.4
小学1～3年生	899	8,771	27.0	5,197	33.5	8,426	27.3	10,203	25.5	6,529	32.6	9,871	25.9
小学4～6年生	1,090	11,368	35.9	6,472	41.6	10,807	36.2	13,997	35.0	8,230	41.2	13,368	35.4
中学1～3年生	1,274	15,042	47.9	8,154	54.4	14,153	48.3	18,768	46.9	10,494	52.5	17,784	47.3
子どものおこづかいや遊興費(予定含む)													
TOTAL	1,060	1,139	3.2	471	3.1	1,074	3.2	1,391	3.1	630	3.2	1,325	3.1
0～3歳	120	775	1.5	177	1.2	736	1.5	909	1.5	339	1.7	884	1.5
4～6歳	167	907	2.7	106	0.7	846	2.6	1,112	2.8	41	0.2	1,034	2.7
小学1～3年生	243	1,310	4.0	213	1.4	1,206	3.9	1,601	4.0	317	1.6	1,485	3.9
小学4～6年生	304	1,493	4.7	740	4.8	1,405	4.7	1,881	4.7	877	4.4	1,772	4.7
中学1～3年生	226	1,221	3.9	757	5.1	1,165	4.0	1,549	3.9	1,125	5.6	1,499	4.0
大人のおこづかいや遊興費(予定含む)													
TOTAL	181	257	0.7	50	0.3	237	0.7	309	0.7	44	0.2	286	0.7
0～3歳	31	324	0.6	0	0.0	302	0.6	371	0.6	0	0.0	355	0.6
4～6歳	38	283	0.9	64	0.4	266	0.8	317	0.8	41	0.2	297	0.8
小学1～3年生	35	165	0.5	37	0.2	153	0.5	186	0.5	0	0.0	170	0.4
小学4～6年生	43	259	0.8	0	0.0	229	0.8	305	0.8	0	0.0	272	0.7
中学1～3年生	34	251	0.8	121	0.8	234	0.8	360	0.9	138	0.7	333	0.9
子どもに限定しない家庭の日常生活費(予定含む)													
TOTAL	2,929	7,196	20.0	2,114	13.8	6,703	19.7	8,981	20.3	2,681	13.4	8,439	20.0
0～3歳	379	6,042	12.0	746	5.0	5,704	11.9	7,304	12.4	615	3.1	7,010	12.2
4～6歳	460	5,657	16.9	1,150	7.2	5,313	16.6	6,621	16.6	1,450	7.3	6,248	16.2
小学1～3年生	619	7,134	22.0	1,662	10.7	6,613	21.5	8,777	21.9	1,886	9.4	8,154	21.4
小学4～6年生	747	8,548	27.0	2,416	15.5	7,843	26.3	11,127	27.8	2,801	14.0	10,220	27.0
中学1～3年生	724	8,606	27.4	3,345	22.3	7,917	27.0	11,551	28.9	4,775	23.9	10,745	28.6
子どもの将来のための貯蓄・保険料													
TOTAL	2,171	8,118	22.5	3,183	20.7	7,635	22.4	10,771	24.3	4,602	23.0	10,241	24.3
0～3歳	940	20,945	41.7	5,127	34.3	19,862	41.4	25,722	43.6	7,992	40.0	24,943	43.6
4～6歳	567	9,453	28.3	5,121	32.0	9,121	28.4	12,334	30.8	6,735	33.7	11,931	30.9
小学1～3年生	414	6,391	19.7	4,277	27.6	6,186	20.1	8,740	21.9	6,146	30.7	8,505	22.3
小学4～6年生	195	2,513	7.9	2,591	16.7	2,517	8.4	3,557	8.9	3,826	19.1	3,587	9.5
中学1～3年生	55	527	1.7	955	6.4	583	2.0	649	1.6	1,438	7.2	743	2.0
子どものためとは限定しない貯蓄・保険料													
TOTAL	396	982	2.7	534	3.5	938	2.8	1,310	3.0	740	3.7	1,261	3.0
0～3歳	150	2,249	4.5	308	2.1	2,115	4.4	2,857	4.8	262	1.3	2,743	4.8
4～6歳	110	1,250	3.7	894	5.6	1,222	3.8	1,552	3.9	1,082	5.4	1,518	3.9
小学1～3年生	72	833	2.6	553	3.6	806	2.6	1,115	2.8	764	3.8	1,083	2.8
小学4～6年生	57	473	1.5	913	5.9	522	1.8	680	1.7	1,308	6.5	749	2.0
中学1～3年生	7	36	0.1	112	0.8	46	0.2	46	0.1	188	0.9	63	0.2
その他(予定含む)													
TOTAL	220	694	1.9	122	0.8	649	1.9	855	1.9	147	0.7	794	1.9
0～3歳	45	852	1.7	192	1.3	830	1.7	977	1.7	0	0.0	934	1.6
4～6歳	35	580	1.7	142	0.9	547	1.7	673	1.7	204	1.0	639	1.7
小学1～3年生	50	689	2.1	250	1.6	646	2.1	847	2.1	366	1.8	804	2.1
小学4～6年生	47	631	2.0	108	0.7	600	2.0	816	2.0	151	0.8	744	2.0
中学1～3年生	43	703	2.2	0	0.0	611	2.1	949	2.4	0	0.0	836	2.2

3. 使途を子どものために限定できない理由〔複数回答〕

児童手当等の使途（予定を含む）で、「大人のおこづかいや遊興費」「子どもに限定しない家庭の日常生活費」「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」のいずれか1つでも回答した人（3,354 サンプル）から、子どものために限定利用できない理由について聞いたところ、「家計に余裕がないため」と回答した人の割合が極めて高く、72.5%。

使途を子どものために限定利用できない理由〔複数回答〕



4. 児童手当等の支給による家庭の変化〔5段階評価〕

児童手当が支給されることによる家庭の変化について

- ・「子どもの将来や子育てについて家族で話し合ったり考える機会が増えた」
- ・「子どもの意見を聴く機会が増えた」
- ・「子どもの数を増やす計画を立てた」
- ・「子どもの支援のあり方について考える機会が増えた」

の4項目で、あてはまるかどうかを5段階で評価してもらった。

「子どもの支援のあり方について考える機会が増えた」と考える人の割合は36.4%

「子どもの将来や子育てについて家族で話し合ったり考える機会が増えた」と考える人の割合は35.7%。

児童手当等の支給による家庭の変化

